

ボランティアさん大募集～!!

こどもと遊ぶのが好きな方、事務局のお手伝いを一緒にして下さる方、お待ちしております。

よろしくお願い致します。

アドレス: tarumifight@yahoo.co.jp



<後援会員 & ご寄付 募集中です!>

この団体の活動は、みなさまの会費とご寄付や助成金で行っています。
ご理解とご協力をお願いいたします。

後援会員費 … ご入会頂くと「こどものちから通信」をお届けします。

◎個人 3,000 円/年 ◎団体(1 口) 10,000 円/年

ご 寄 付 … みなさまのあたたかいお気持ちは、きょうだいさんの笑顔を
増やす活動に大切に活用させていただきます。

◎こどものちからの一年は、4 月から翌年 3 月までです。(^ _ ^)

郵便振替番号：00170-7-571697

□ 座 名：特定非営利活動法人こどものちから

お問い合わせは、住所：〒136-0073 東京都江東区北砂 5-20-18-211

Tel：080-6867-6135 アドレス: tarumifight@yahoo.co.jp

Facebook：<https://www.facebook.com/kodomonotikara>

ホームページ：<http://kodomo-chikara.org/>

「特定非営利活動法人こどものちから」事務局までお願い致します。

※独立した事務局がないためご連絡は、メールのみでお願いしております。

<ご寄付>◎複数の個人の方々や企業の方々から頂きました。

いつもお心にかけていただきましてありがとうございます。

<小児待合室活動日>…きょうだい・病児・家族に遊んでもらっています。

毎週月曜日・木曜日、第 2 土曜日・第 4 日曜日 午前 11 時～午後 2 時

<協力団体>※カフェ・アリエッタ 大原薬品工業(株)

<発行>「NPO 法人こどものちから」事務局

〒136-0073 東京都江東区北砂 5-20-18-211

TEL：080-6867-6135

アドレス: tarumifight@yahoo.co.jp



病院に連れて来られても病棟に入れないきょうだいさんに
遊んでもらう活動をしています。



<スタッフ・さいとう はるみ 作>
NO. 15 2018. 6月発行

第2回 「こどもまつり」

実施日時:2018年5月13日(日)午後1時~4時

実施場所:国立がん研究センター中央病院

19階レストラン MAHANA

2018年4月で丸5周年を迎えた「こどものちから」。

(株)スタイリングライフ・ホールディングスさま、NPO法人

キープ・ママ・スマイリングさま、マルゴ室内合奏団さま、整骨

院・鍼灸院・ハンドトリートメントの先生方、そしてボランティアの皆さま、会場をお貸し下さった MAHANA の店長さま、たくさんのご協力をいただきました。ご参加くださったのは、待合室活動で知り合ったご家族を中心に、入院中のお友達やご家族のお見舞いに来たお子さん、それから大人の患者さんも点滴台を押したり、車いすに乗って覗きにきてくれました。

16家族50名を含み、総勢101名の参加がありました。やった〜〜〜!!!

♡準備したコーナー：ビヨヨンヘビ・ストロー吹き矢・リボンストラップ・ひとむすび・母の日工作・ステッカーアート・バルーンアート・ちびっ子休憩所
聴診器を使って聴いてみよう・室内合奏・ミニバザー

♡大人用ほぐしのコーナー：整体・ハンドトリートメント

♡おやつコーナー：フリードリンクコーナー・手作りドーナッツ・手作りクッキー

ビヨヨンヘビ・・・ガムテープが貼ってある本体に、シールを貼って、輪ゴムをつけて完成。

ストロー吹き矢・・・息を吐くおもちゃ。“呼吸”は、まず吐くことから始まります(^▽^)

リボンストラップ・・・好きな色のリボンを2本選んで編みました。

ひとむすび・・・結びものを身につけると幸福を招くと言われていました。今回は、先生からすてきなビーズのご提供があり、ブレスレットやネックレスなどを作ってみました。ちびっ子達もすてきなビーズにワクワクでした。

母の日工作・・・いつもがんばってくれているママに、感謝を込めてカーネーションの花びらにメッセージを書いて、リボンをつけました。

ステッカーアート・・・アメリカ製のステッカーは、絵柄がはっきりクッキリ。思わず引きつけられます。インパクトのある、すてきなカードが完成しました。

バルーンアート・・・今回は、ボラさんを中心として、お友達同士で作ってみました。ドキドキしたけど、かわいいお花のブレスレットが出来ました。もちろん剣も大人気(^▽^)

おやつコーナー・・・キープ・ママ・スマイリングさんが作ってくれたドーナッツやボラさんが作ってくれたクッキー、おいしかったで〜す。お菓子もフリードリンク也大盛況。

ほぐし(整体・ハンドトリートメント)のコーナーは、ママやパパへのプレゼント。

マルゴ室内合奏団の皆さまには、急遽小児病棟でも演奏をして頂きました。うっとり〜。

参加してくださった皆様、ご協力くださった皆様、祈りを運んでくださった皆様・・・

すべてのみなさまに感謝申し上げます。来年も開催しま〜す(*^▽^*)



<活 動 報 告>

◎小児待合室にて立ち寄ってくれた、きょうだい・病児・家族に遊んでももらいました。

2017年4月～2018年3月、実施回数:132回。参加スタッフ・ボランティア:のべ418人。

訪問してくれたきょうだいさんや病児さんやご家族:のべ 1,424 人。

(内きょうだいさん:246人、病児さん:422人、親御さん:662人、大人の患者さん:7名、その他:87名)。見学:71人。

◎網膜芽細胞腫の子どもを持つ家族の会、おしゃべり会開催時、保育サポート実施

◎12月25日(月)小児待合室にて「クリスマスおはなし会」

◎1月13日(土) ガラガドン事務局にて「東京ボランティアネット交流会」参加

◎1月18日(木)三和ホールディングス(株)さま「企業内ボランティア」実施(団体紹介他)

◎1月20日(土)東京ボランティア・市民活動センター発行「ネットワーク」にて活動紹介

◎1月27日(土)世田谷市民講座「病気の子どもの遊び」坂上和子さん講演、聴講

◎2月3日(土)・4日(日)「小児慢性特定疾病児童等自立支援成果報告会」参加

◎2月11日(日)大阪宝塚大学にて「スペシャルキッズサポーターの集い」参加

◎2月17日(土)エッグツリーハウス主催「グリーンケア研究会」参加

◎3月4日(日)東京おもちゃ美術館主催「病児と遊びのおもちゃケア」参加

◎3月30日(金)読売新聞「医療ルネッサンス」にて活動紹介

◎5月12日(土)大妻女子大学児童学科学生対象「ボランティア説明会」参加

◎5月13日(日)がん研究センター中央病院レストラン MAHANA にて「こどもまつり」開催

◎5月13日(日)がん研究センター中央病院にて「第6回こどものちから総会」実施

◎6月1日(金)武蔵野大学看護学部3年生対象「病気を持つこどもと家族」講演

◎6月12日(火)通信15号発行

<今 後 の 予 定>

◎6月17日(日)「藤田浩子さんのおはなし会」築地社会教育会館にて、午後2時～

◎7月1日(日) 内部研修「すくすく保育事前研修会」会場未定

◎7月15日(日)「すくすく」網膜芽細胞腫の子どもを持つ家族の会、勉強会保育。
がんセンター中央病院、管理棟にて

◎8月19日(日)「暑気払い&前期振り返りの会」会場未定

◎10月頃「焼き芋&BBQ」詳細は決定次第連絡いたします。

◎11月11日(日)・12月2日(日)「クリスマス工場(カード作り・サトウヰシガ工作)」

詳細は決定次第連絡いたします。

◎12月21日(金)通信16号発行

◎小児待合室できょうだいさんや病児と遊んでもらいます。

毎週月曜日・木曜日、第2土曜日・第4日曜日 午前11時～午後2時



<すてきなことがい〜っぱい！！ ありがとうございます(*^▽^*)>

-  山本雅基さまから、ディズニーチケットを頂きました。待合室活動で巡り逢ったお友だちにプレゼントさせていただきました。チケットを手にしたお友だちは皆、表情が輝いていました。楽しい時間を過ごして下さいね(^▽)
- 広川智信さま(代ゼミサライ予備校)から、コピー紙・色画用紙・アクアビーズ他。佼成出版社さま、柔らかく温かな雰囲気の絵本多数。
- 待合室やイベントの工作・読み聞かせなどで、楽しく利用させていただきます。
- 読売新聞医療ルネッサンスの掲載記事を読んで、千羽鶴や絵本を頂きました。
-  ご寄付頂きました。
- 立教女学院小学校図書ボランティアの皆様。江東区森下にある「Snug」さま。江東区清澄白河にある「山食堂」さま。後援会員の皆様。
- 待合室活動や交流イベント活動の運営費として活用させていただきます。
-  「こどもまつり」にご協力いただきました。
- (株)スタイリングライフ・ホールディングスさまから「ステッカーアート」。
- マルゴ室内合奏団の皆さまから、子ども達の大好きな曲のメドレー。
- NPO 法人キープ・ママ・スマイリングさまから、ドーナッツ 80 人分。
- 無事に楽しい時間を過ごすことが出来ました。

2017年度会計報告			
科目	金額	科目	金額
<収入の部>		<支出の部>	
会費	319,000	病児や兄弟・家族の支援事業	189,932
寄付金	598,158	兄弟支援に関わる情報発信事業	197,736
難病のこども支援全国ネットワーク	29,856	病児・家族等を対象とした交流事業	359,717
事業収益(イベント参加費他)	151,126	兄弟支援に関わる勉強会の開催及び学びの機会の提供事業	258,356
受取利息	6	その他目的を達成するために必要な事業	0
雑収入	5,781	管理部門	97,742
		合計	¥1,103,483
		経費外費用(雑損)	0
合計	¥1,103,927	当期正味財産増減額	444
		前期繰越正味財産増減額	642,346
		次期繰越正味財産額	¥642,790



2018年5月13日(日) こどもまつり
(がんセンター中央病院 19階レストラン MAHANA にて)

患者のきょうだい支える

国立がん研究センター中央病院（東京都中央区）の小児腫瘍科病棟がある12階でエレベーターを降りると、すぐに小児待合室がある。NPO法人「こどものちから」のボランティアが子どもと遊んだり、家族と話を花を咲かせたりする。

「ここは、病気の子どもに付き添って訪れるきょうだいや親たちのための空間。感染症を持ち込む恐れから、小学生以下のきょうだいは病棟に入らず、孤独に待つことを余儀なくされ。そんな子たちと遊ぼうと定期的に活動している。」

「今日は絶対負けないよ」
さいたま市の小学6年生、五十嵐勝君（12）が、ゲーム盤を挟んでボランティアの女性に話しかける。中学2年の兄・優君（14）が2016年11月に急性リンパ性白血病を患い、治療後に再発。今も入院している。

母のさゆりさん（44）は看病に通い、休日は勝君も一緒に来ている。平日は学校があるため、放課後は自宅で留守番。

「寂しがっているのを見せたら兄ちゃんが悲しむか。治るまで見せないようにしてるんだ」。勝君がこっそり教えてくれた。さゆりさんによると当初は、兄と突然離れ、母と過ごす時間も短くなり、「終わったら早く帰ってきて



母親のさゆりさんが兄の見舞いで病棟の中にいる間、小児待合室でボランティアの女性とゲームで遊ぶ五十嵐勝君（東京都中央区の国立がん研究センター中央病院で）画像を一部修整しています

ね」と言われた。特別に許可が下りて病棟で弱った兄の姿を見た時、勝君はショックだったのか、しばらく見つめていた。勝君は夏休みも休日も、嫌な顔せずついてきてくれる。

「寂しいのはなくなるよ。小さい子やお兄さん、お姉さんもくるから、一緒に遊べて楽しい」と勝君。さゆりさんも、勝君と一緒に時間を作るようにしている。

「こどものちから」理事長・井上るみ子さんの実体験が活動の原点だ。「きょうだいは疎外感、うだいは疎外感、

困惑、孤独など様々な思いを抱えながら我慢している。少しでもやらけたい」

1998年、当時13歳の三男をがんで亡くした。入院中、小学生だった長女は病棟前のロビー。病状も説明していたつもりだったが、後に「私は蚊帳の外だった。理解していればもっとできることがたくさんあった」と言われた。長女に背中を押されて活動を始め、2013年に団体発足。さゆりさんは「ここは本当に温かい空間。心の支えです」とほほ笑む。

同病院小児腫瘍科長の小川千登世さんも「きょうだいが気兼ねなく人と遊び、似た境遇の人と話せる場はありがたい」と話す。自分がケンカの時になたいたから病気になった「お母さんが自分を嫌いになったから帰ってこない」などこころえる子もいる。「親は病気の子のきょうだいが主役の時間をわずかも作り、病気についてきちんと説明することが大事」と指摘する。

2018年3月30日(金)

読売新聞医療ルネサンスに掲載されました。(▽)

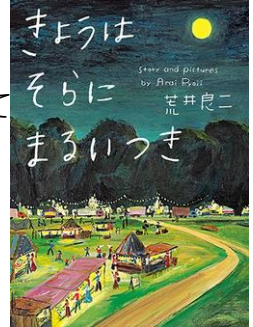
<絵本紹介> ～たまにはゆったり～

静岡県立こども病院医学図書室 塚田薫代

一日の終わり、ベッドに入った子どもと一緒にゆったりした気持ちで絵本を読んでみませんか。

『きょうはそらにまるいつき』荒井良二;偕成社 2016
「あかちゃんがそらをみている」「きょうはそらにまるいつき」
くりかえすリズムが心地よく、一日の終わりの時間がゆったりと流れています。今日いちにち精一杯頑張ったねっておつきさまが褒めてくれているみたいです。

だから「ごほうびのようなおつきさま」なのでしょうか。



『スーちゃん おやすみなさい』

アリーナ・サーナイト;東洋館出版 2018

リトアニア生まれの作者は本作がデビュー作です。

夜のくらやみは幼い子にとっては怖いもの。

一人で寝るスーちゃんにしのびよる黒い影の正体は…?

ぬくもりのあるタッチで描く女の子がとても愛らしい本です。

病棟で読み聞かせしたら「わたしベッド行く!」と

ひとりでネンネしてくれました。



～ 看護師の立場からの提案 ～

奥山文香

何となく不調、という状態から少しでも生き生きとした命の営みを取り戻してみましょ。前回から引き続き五行説からアイデアをお借りします。

春は眼精疲労や肩こり、こむら返りや食欲不振などが出やすく、イライラしがち。

旬の苦味のある野草、人参や梅など多く取り入れ、肝臓を労りましょ。

夏は脈がたれやすく、発汗過多、のぼせやすい時期で心臓に、また長夏という湿気の多い時期は食欲不振など胃腸を壊しやすく、食中毒にも注意が必要で、消化吸収に大切な胃腸を整える脾臓に負担がかかりやすいです。

小豆、卵、はと麦、かぼちゃ、長芋などで不調を防ぎましょ。

秋は、肌荒れや鼻汁、咳などの風邪、また気も憂いやすくなります。

肺を整えるため、長ネギや白菜、レンコンや生姜、くるみもよいでしょう。

東洋医学の少し難しいお話を、簡単に切り取りお伝えしています。

季節にも、私達の身体にもリズムや流れがありますね。

身近な食材で、自然の流れに身を任せ、ゆったりと命を感じる

時間を作ってみて下さい。貴方の身体は生きようとしています。

自然もまた、貴方に生き生きとエネルギーを与えようと微笑んでいますよ。

